国民文化祭通信 NO.10

常陸大宮市では11月8日（土）・9日（日）にグリーンふるさと文化フェスティバル「西塩子の回り舞台」を開催します。西塩子の回り舞台では組立から公演まで、たくさんの人達が、さまざまな班に分かれて企画・運営をしています。今回は運営組織の班長になっている保存会の方々のコメントを掲載いたします。（敬称略）

▲舞台組立の様子

大貫　征男
（組立班長）

組立班は17人で組織されておりますが、作業に入ると保存会全員の協力が必要になります。特に350本もの竹の切り出しや、70玉もの縄を使う組立には、一般ボランティアや茨城大学生の協力をいただき、組み上げまでには延べ400人もの人力を必要とします。ご来場の皆様に満足いただける舞台となるよう一生懸命作ります。

大貫　孝夫
（保存会会長）

西塩子の回り舞台が開会式のサテライト会場として使用されることは、この上ない喜びです。当日は、子ども達による歌舞伎や、本条秀太郎氏作曲によるの「西塩子」の曲に合わせての舞い、来場者全員による合唱等が行われます。8・9日の両日は地元をはじめ、全国より地芝居の皆様をお迎えして歌舞伎等が上演されます。

横山　正大（「西若座」で出演）
（保存会副会長）

舞台の組立が9月24日から始まり、たくさんの方々のご協力を頂き一丸となって準備に取組んでいます。

本年5月より稽古に励んできた地元西若座の公演もありますが、普段見ることの出来ない県外の団体の公演もありますので、この機会に伝統文化を堪能してください。

大貫　幸子
（おもてなし班長）

私達、おもてなし班では、来場された方々に西塩子の紅葉のすすむ山並みを眺めながら、ふるさとの味に出会って頂きたいと思っております。元気あふれる地元婦人部との暖かいふれあいと伝統文化を楽しみながら、ゆっくりと過ごしていただきたいです。

▼舞台組立に携わっている皆さん

横山不二夫（「西若座」で出演）
（総務班長）

前回の公演でも総務班を担当した経験を活かし、着々と準備を進めています。11月8・9日の地芝居の公演では、西若座の出演もありますので、現在、毎週練習に取組んでいます。来場される方々に喜んでいただけるよう総務班としても、西若座としても頑張りたいと思います。

多くの方にご協力いただいています

西塩子の回り舞台での歌舞伎公演には、舞台道具や衣裳の製作に大勢のボランティアが協力しています。

御前山地域で活動する竹・わら細工教室の皆さんも、29人全員で1週間をかけ、竹を編み、和紙を貼って、常磐津「将門」に登場する大きなガマを作ってくれました。一匹は残して希望者に貸出すそうです。

（連絡先　55−2877 大貫）

▲竹・わら細工教室の皆さん

問い合わせ先　第23回国民文化祭常陸大宮市実行委員会事務局（生涯学習課国民文化祭推進グループ）
☎52−1111　内線346　　FAX　52−6502